

Social —Social Impacts in the Supply Chain—

Concept & Policy KWE供給者行動規範

国内外の様々なサプライヤーの皆様とともに協働するKWEグループは、2020年1月、全てのサプライヤーの皆様を求める行動原則をサステナビリティの視点からまとめ、「KWE供給者行動規範」として策定しました。

【概要】 方針、一般条項および行動基準（7つの柱：1.法令遵守、2.商慣行、3.倫理原則および利益相反、4.安全衛生、5.労働、6.供給者管理、7.環境法令の遵守）、違反した場合、倫理に関する報告先

【要求事項】 1.労働環境、2.機械設備（フォークリフト、マテハン設備）、3.緊急時対応計画、4.個人用防護具、5.貨物配置、6.労働条件、7.その他

KWE供給者行動規範については右記をご参照ください。 <https://www.kwe.com/jp/about/whoweare/policy/vendor-code-of-conduct/>

企業価値向上に向けて

マテリアリティ「Social Impacts in the Supply Chain」において、当社グループは、KWE社内やサプライチェーン全体における社会的、環境的、倫理的責任の遂行状況を継続的に改善するべく、社内外のベストプラクティスを共有し、各拠点・サプライヤーへ適用していくことを基本方針としています。

その核となる「KWE供給者行動規範」について、2020～2021年は国内外サプライヤーに周知を図ったほか、2021～2022年にかけては、同規範の7つの柱の中でステークホルダーの関心が高くかつ最もクリティカルな「安全衛生」、特に「倉庫作業における安全衛生」を最優先の取組み課題とし、サプライヤー各社の労働環境について7項目の「要求事項」を策定しました。これを受けて2023年より、「KWEグループ労働安全衛生管理規程」に連動した「サプライヤー安全衛生統一基準」の策定を進めています。2025年現在、当社グループのサプライヤーの約90%が「KWE供給者行動規範」を適用しています。

また、サプライヤーの皆様と持続可能なサプライチェーンの構築に向けた体制を整えるべく、2023年に近鉄グループとして「国連グローバル・コンパクト」に加盟したほか、「パートナーシップ構築宣言」へ参画しました。

今後も、企業価値向上に向けた大前提として、マテリアリティ「Social Impacts in the Supply Chain」におけるこれら一連の取組みを通して責任ある調達を推進し、持続的なサプライチェーンの構築に努めていきます。

国連グローバル・コンパクトに近鉄グループとして参画

サステナビリティ活動の取組みを強化すべく、当社から親会社の近鉄グループホールディングス株式会社へ働きかけ、2023年10月に近鉄グループとしてグローバル・コンパクトに参画しました。グローバル・コンパクトは国連が企業に提唱する世界最大のサステナビリティに関するイニシアチブであり、人権、労働基準、環境、腐敗防止に関する10の原則から成り立っています。当社グループは本イニシアチブへの参画を通して、持続可能な社会の実現に向けた取組みを加速していきます。



パートナーシップ構築宣言への参画

当社グループは経団連会長、日商會頭、連合会長および関係大臣（内閣府・経済産業省・厚生労働省・農林水産省・国土交通省）をメンバーとする「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨に賛同し、2023年9月にパートナーシップ構築宣言へ参画しました。これは、企業規模の大小にかかわらず、サプライチェーン全体の付加価値向上および大企業と中小企業の共存共栄を目指し、事業者が発注者側の立場から代表者の名前で自社の取引方針を宣言するものです。本宣言への参画をきっかけに新たな連携にも積極的に取り組むことで、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者との持続可能な関係の構築を目指します。

